

○タウンミーティング議事録(概要)

日 時:令和3年9月25日(土)

午前10時から午前11時30分まで

場 所:富山国際会議場 多目的会議室

出席者:17人

テーマ 第2次富山市総合計画後期基本計画(案)について

【テーマの説明に対する質問】

・インフラの更新について、統廃合を進めていくということですが、使われなくなった橋などを壊していく場合、どのような判断指標で決めていくのですか。例えば人口が少なくなると通行量が少なくなったらやめていくということなのではないでしょうか。

(市長)

公共施設の中でも社会インフラは大変重要であります。特に橋梁などに象徴されるように、2,200 橋以上の市が管理する橋があるなかで、実際にはひとつひとつ違う橋ですので、すべてに長寿命化が当てはまるわけではなく、例えば 20 年間長寿命化したから 20 年もつという保証もないわけです。

その中で富山市では、橋梁トリアージとあって、その橋の重要性や老朽化の具合、今後の維持管理にかかる費用など、いくつかの指標に照らし合わせて、長寿命化させるべきか、新しくかけ替えるべきかということなどを判断しております。

それに基づいて計画を立て、老朽化した橋で廃止するものは廃止する、かけ替えるものはかけ替える、長寿命化するものは長寿命化していくという工事を、順次進めております。

しかし、廃止する場合、地域の方々にとって、今まであったものがなくなるということは

非常に残念なことでもあり、ある意味、不便になるということでもあります。その場合は地域の方々に十分説明して、地域の方の理解を得ながら判断を進めていきます。

大事なのは、毎日の生活で使うということもありますが、緊急時、例えば自然災害などが発生した時に、その橋がないと孤立してしまうとか、避難しなければならなくなったときに、その橋がないと避難できないということがすごく重要になってきます。

このようなことを理解してもらいながら、例えば 1 キロの区間に 3 本の橋があつて、3 本とも老朽化している場合、どの橋を残してどの橋を撤去するかということを地域の方と一緒に判断していくというのが富山市のスタンスであります。

また、すべての公共建築物についても類似施設がたくさんあります。

市の中でもホールや体育館などは市町村合併前のそれぞれの市町村にあつたわけですから、どれを選択して残す、集約してひとつにするということをやっています。

例えば、もっと言えば富山県の体育館と富山市の体育館、あるいは体育施設、野球場、陸上競技場などを含めて、今後、本当にこんなに多くの(施設の)維持管理ができるのか、ということも含めて、県と市とのコミュニケーションの中で話を始められたらということもありますし、このような広い意味での公共建築物、公共施設、公共インフラを各自自治体とコミュニケーションをとりながら集約化していけたらと思います。

その際には市民の方々、地域の方々、県民の方々の声をしっかり聴いて、統廃合の計画に活かしていくということが非常に大事だと思っています。

【その他意見交換】

・当地区の児童生徒が、通学に対して困難をきわめているという事実があります。現在、富山市では、学校の再編を考えておられますが、再編するにあたっては、憲法と教育基本法の理念に基づいて再編されているのでしょうか。

(市長)

まず教育に関してですが、憲法の下ですべての方が義務教育を受ける権利があるということについては、富山市においても、どこにおいても、それは尊重されるべきものがあります。私は市長当局ですので、本来、教育委員会が教育長をトップとして、今の質問にお答えするのだと思いますが、組織としては違うということを前提に、私の主観も入ると思いますが、お答えしたいと思います。

(学校再編については)教育委員会でしっかりとした(法に基づいた)判断で行われています。

・教育基本法の第5条の3には、「国及び地方公共団体は、義務教育の機会を保障し、その水準を確保するため、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。」とこのように書いてありますが、この中には通学(の保障)ということが含まれていないのでしょうか。通学が含まれない(義務教育の)機会の保障というのは、どのように考えたらいいのでしょうか。

当地区から、子どもがちゃんと学校にアクセスできるようにしてください。それが今後、他地区でも学校再編するときに、重要になってくる問題です。

最後に、このことについて相談できる窓口を用意してください。

(市長)

貴重なご意見ありがとうございます。

教育委員会の所管のことですので、私からの答えは差し控えさせていただきますが、思いは十分に伝わりましたので、現状を調査したいと思います。

・(総合)教育会議ができており、地方公共団体の長と市教育委員会は同じ構図になっているはずです。

(市長)

(総合)教育会議は、市長部局と教育長が対等の立場で教育について議論できるという場であり、私もその場を通して、教育長と今の議論をさせていただきたいと思います。

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)